

学 会 記 事

◎ 第7回理事会（昭.31.12.18）出席者：平山会長、種谷、米田両副会長、東、飯吉、平井、丸安、中安、米屋の各理事。議事：1) 11月中の行事その他報告、2) 昭和31年度土木賞委員候補者を次のとおり常議員会に推薦すること。（委員）東 寿、伊藤令二、岡本舜三、藤井松太郎、富樫凱一、当山道三、沼田政矩、広瀬孝六郎、福田武雄、町田 保、伊藤 剛、国分正胤。（各支部推薦）横道英雄（北海道）、原田千三（東北）、荒井利一郎（中部）、矢野勝正（関西）、庄司陸太郎（中四）、田中吉郎（西部）。（学会側）平山会長、種谷、米田両副会長、本間（論文集）委員長、糸川（会誌）委員長、平井編集部長の諸君。3) 1月21日水利科学訪中代表団報告講演会開催について、4) 委員追加交代 a) 論文集委員会第4部会三野 定委員後任に及川 知君を、b) 海外連絡委員会委員に東 寿、最上武雄、山本三郎、種谷 実の4君を追加し、立花次郎君辞任申出、5) 波力小委員会を海岸工学委員会の分科会として設置し、その構成を次のとおりとする。

委員長：本間 仁、委員：井島 武、岩垣雄一、岸 力、佐藤清一、田中 清、永井莊七郎、新妻幸雄、浜田徳一、林 泰造、堀川清司、狩野徳太郎、幹事：肥後春生、白石直文、の諸君。
6) 土木会館竣工披露その他企画を建設委員会に依頼する、7) 土木振興対策について、8) お知らせ欄のとおり総会および講演会スケジュールを北海道支部で決定したことを承認、9) 会員の入退会承認。

◎ 各種委員会

1. 第7回会誌編集委員会（昭.31.12.21）出席者：糸川委員長、後藤地方委員、岡崎（代）、久保（代）、松本、竹下、林、八十島、針ヶ谷、猪股、森、安藤各委員、深谷幹事、岡本編集部員。協議事項：1) 投稿原稿報告、2) 原稿審査報告および新原稿審査委員決定、3) 依頼原稿状況、4) 委員の補充について、5) アンケート結果について、6) 2月号登載用として次のものを予定した。

藤芳義男：河道の洪水調節計算法、田原保二：代々橋の設計について、牧野茂樹：カント設定についての一考察、成瀬輝男：ランガー橋の不確定力の近似計算法、中国水利視察団講演会要旨。

2. 第7回会誌編集小委員会（昭.31.12.4）出席者：糸川委員長、杉田、久保（代）各委員、深谷幹事、岡本編集部員。協議事項：1月号編集につき具体的に検討した。

3. 第7回会誌抄録委員会（昭.31.12.6）出席者：八十島委員長、稻田、久野、小池、西沢、野口、堀井、山田、二階堂（代）、湯浅、渡部各委員。山口幹事、岡本編集部員。協議事項：1) 1月号抄録3編を予定、2) 1月号文献目録を報告、3) その他。

4. 海岸保全施設小委員会 第2回幹事会（昭.31.12.

12) 出席者：有賀、岸、白石、中本、浜田、堀川、石綿の各幹事。議事：海岸保全施設設計基準および調査基準（外力の部）の原案作製について協議。第3回委員会（昭.31.12.14）出席者：本間委員長、東、石原（代岩佐）、小川（代植山）、狩野（代久松）、佐藤、瀬尾（代矢野）、野知（代佐々木）、渡部の各委員、有賀、岸、白石、中本、浜田、堀川、石綿の各幹事、新妻、肥後両氏。議事：1) 第3回海岸工学講演会および委員会の報告、2) 波力小委員会設置方理事会に要請すること、3) 海岸保全施設設計基準案（外力の部）を審議。

5. 海外連絡委員会（昭.31.12.17）出席者：田中委員長、石原、千秋、立花、本間の各委員、平井幹事。議事：1) 1957年中に開催される下記国際学術会議に代表派遣について協議。

- (1) The 4th International Conference on Soil Mechanics and Foundation Engineering in London, 12-24 August.
- (2) 7th General Meeting of the International Association for Hydraulic Research, in Lisbon, 25th~31st July.
- (3) The 24th Executive Meeting of the International Commission on Large Dams in Istanbul, Tarxi, 1st week of September.
- (4) 1957 Sub-Committee of Concrete for Large Dam in Milan, Italy, May or June (early part)
- (5) World Conference on prestressed Concrete, in San Francisco, July 29-August 2.
- (6) Annual Assembly of International Institute of Welding in Essen Deutschland, 29 June-6 July.
- (7) 7th Congress of International Hydrographic Bureau in Monte Carlo, Monaco, 7-May.
- (8) The 3rd Congress of the International Commission on Irrigation and Drainage, April-May, San Francisco, U.S.A.
- (9) The 19th Congress of the permanent International Association for Navigation Congress in London, 7-20 July.
- (10) 11th General Assembly of LUGG in Toronto, Ontario, Canada, 3-14 September.
- (11) 6th International Congress of the International Society of Soil Science, 29 September-8 October.

6. 第49回コンクリート鉄道構造物委員会（昭.31.12.

26) 出席者：吉田委員長、高坂（代梅木）、友永、坂本（代天野）各委員、川口、深谷、尾崎、杉田（代堀内）、三浦（代野口）、小幡山、松本の各幹事。議事：2章30条～3章はり3条まで審議。

◎ そ の 他

1. 文部省大学学術局長から昭和 32 年度文部省科学試験研究費補助金申請公募について解説を送付してきたので、会員の注意を促すために第 41 卷 12 号 80 ページに要領を登載した。

◎ 日本学術会議その他の動き

1. 日本学術会議会長から、次のような通報に接した。

本邦における国際会議開催について

標記について、外務省から最近「從来国際学術会議の開催に当つて國交未回復の学者の招へいに関し、渡航その他について問題を起すことが少なくなかつた実情に鑑み、今後これらの学者を招へいする際、あらかじめ外務省に通報されたい」旨の申越がありましたので、念のためお知らせします。

2. JSC 材料試験研究連絡委員会（第 1 回）を 11 月 13 日開催し、委員長に西原氏、幹事に浜田、山内両氏が任命され、本委員会の事業の一つとして明年秋第 1 回講演会を開催することとなつた。

3. JSC 溶接研究連絡委員会から 12 月号所載の第 2 回シンポジウムの講演募集があつた。

4. 文部省では国立競技設立協議会総会を 12 月 13 日開催し、実施設計が確定したので、12 月 28 日明治神宮外苑陸上競技場で、盛大な起工式を挙行した。

5. 土質工学会では 12 月 5 日講演会ならびに土質用語制定案公聴会を開催した。

6. 日本工学会税対策委員会（昭.31.12.12）土木学会から中川書記長出席し、民法第 34 条により設立された

法人組織の学術団体（学会、協会）の課税免除に関する陳情書案を可決し、国税庁長官あてに提出し、コピイを文部省、衆参両院大蔵委員会委員長、自民、社会両党政調会長、大蔵省主税局長、通産省、農林省、郵政省、運輸省、厚生省、日本学術会議、科学技術庁等へ送付し協力方を要請した。

支 部 だ よ り

1. 西部支部 昭和 31 年度各季研究発表会（昭.31.12.8 熊本大学工学部において）次の研究発表が行われ、非常に盛況であつた。

博多港大浜埠頭の基礎地盤（布施敬一郎、○内田哲郎）、平戸瀬戸の航路改良（吉村芳男）、硬土浚渫工法（石丸 聰）、河川砂礫の移動機構に関する一考察（篠原謙爾、○椿東一郎）、感潮河川（高田京一）、白川改修計画（古賀雷四郎）、山須原発電所増設に伴うサージタンク連絡に関する試験報告（川上謙太郎、○吉高益男、松木敏雄、山下 晃）、九州西北部地方の降雨特性（川上謙太郎、○石黒政儀）、水平坑道に及ぼす下層探査の影響（兼重 修、○林口勝刀）、有明海海岸堤防（東島盛）、低コストの道路舗装（川野博司）、道路トンネルの自然換気の限界（伊吹山西郎）、米国道路トンネルの視察報告（松尾寿一、同上スライド）

コンクリート標準示方書説明会（昭.31.12.25）九州コンクリート研究会と共に開き聴講者多数参會した。講師に東大教授国分正胤氏、建築関係仕様書の説明を九佐治泰次氏にお願いして、質疑応答を活潑に行つて盛会であつた。

| | |
|--------|---------------|
| 佐野利器君 | 工博 東京大学名誉教授 |
| 坂本一平君 | 福岡市助役 |
| 伊藤貞蔵君 | 菅原建設 KK 仙台支店 |
| 柏原富士郎君 | 久保田水道工業 KK |
| 今本晴君 | 九州地建肥筑国道工事事務所 |
| 長野憲一君 | 日本大学工学部在学 |

| | |
|---------------------|---------|
| 昭和 31 年 12 月 5 日逝去 | 享年 76 歳 |
| 昭和 31 年 11 月 12 日逝去 | 享年 74 歳 |
| 昭和 31 年 10 月 2 日逝去 | 享年 51 歳 |
| 昭和 31 年 9 月 6 日逝去 | 享年 48 歳 |
| 昭和 31 年 12 月 4 日逝去 | 享年 22 歳 |
| 昭和 31 年 9 月 1 日逝去 | 享年 23 歳 |

昭和 31 年 12 月分入退会報告（昭 31.12.1~12.31）

1. 入 会 50 名（正 8、准 27、学生 15）
2. 退 会 15 名（正 9、准 5、学生 1）
3. 転 格 20 名（准より正へ 19、学生より准へ 1）

会 員 現 在 数（昭 31.12.31 現在）

| 名譽員 | 賛助員 | 特別員 1 級 | 2 級 | 3 級 | 正 員 | 准 員 | 学生員 | 合 計 | 増 加 |
|-----|-----|---------|-----|-----|-------|-------|-------|--------|-----|
| 20 | 30 | 31 | 76 | 120 | 6 680 | 5 036 | 1 242 | 13 235 | 35 |

昭和 32 年 1 月 10 日 印 刷

昭和 32 年 1 月 15 日 発 行

土木学会誌 第 42 卷 第 1 号

印 刷 者 大沼正吉

印 刷 所 株式会社 技 報 堂 東京都港区赤坂溜池 5 番地

編集兼発行者 中川一美

発 行 所 社團法人 土木学会 東京都千代田区大手町 2 丁目 4 番地

定 価 100 円

振替 東京 16828 番

電話 (20) 3945・4078 番